

神奈川県立 精神医療センターだより

芹香病院／せりがや病院

平成16年
12
DECEMBER
創刊号

創刊のごあいさつ



神奈川県立精神医療センター
所長 木村逸雄



「精神医療センターだより」をこのたび発行することにいたしました。このたよりを通して、当センターの医療や話題などを広く地域や県民の皆様にお届けするとともに、皆様からご意見やご要望をいただいて、当センターの医療に反映させたいと考えております。

当センターは、芹香病院とせりがや病院の2つの病院を運営しております。芹香病院は、精神医療全般を受け持ち、統合失調症、うつ病、神経症など様々な精神障害を対象とし、地域のニーズである通院・入院治療から社会復帰までの一般精神医療と、全県的なニーズである神奈川県方式による24時間精神科救急医療、重度痴呆医療、難治重症医療、結核合併症医療などの専門精神医療に対応しております。また退院後の地域ケア・支援として、精神科訪問看護に力を注いでおります。せりがや病院は、依存症や中毒性精神障害の医療を受け持つ専門病院で、啓蒙教育活動など予防対策も幅広く行っております。

さて最近、テレビや新聞でこころの健康問題が取り上げられています。青少年の不登校、引きこもり、中高年のうつ病、自殺、依存症、老年期の痴呆症等々で、家族もつらい思いをします。世間を騒がす事件として扱われることもあります。

当センターは、特に芹香病院の方は築30年以上の古い建物のままで、このようなこころの健康問題には十分な対応ができておりません。現在、これらの問題にも新しい体制で対応できるよう建替え計画の検討が進められております。

当センターでは、皆様からいただいたご意見やご要望を踏まえ、「患者さんやご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます。」との基本理念の実践を目指しております。今後とも、多くの皆様からご意見、ご要望をお寄せいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

基本理念

患者さんやご家族に信頼される心あたたかい医療を
提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1

神奈川県立精神医療センター

TEL 045-822-0241(代) FAX 045-825-3852

<http://local.kanagawa.jp/osirase/byouin/seisin/index.htm>

芹香病院のご紹介



芹香病院長 岩成秀夫

当芹香病院は、70有余年の歴史のある県立単科精神病院ですが、新しい時代の精神科医療をめざして脱皮を図っているところです。そのため当病院では、昨年度より次の基本方針を掲げて診療にあたっています。それらは、1) 県民に信頼され親しまれる病院にすること、2) 神奈川県精神科中核病院として高度で専門的な医療を提供すること、3) 適切で円滑な入院受入れと早期退院に努力し社会復帰を支援すること、4) 患者さんの権利に配慮し納得してもらえる医療を心がけること、5) 医療の安全管理を徹底し安心して療養できるよう努めること、6) 県立病院として健全な経営をめざすこと、の6つです。

まず当病院には、県立病院として県の政策的医療を中核的に進めていく役割が課せられています。その第1が夜間休日の精神科救急医療ですが、平成15年度より救急病棟を整備して入院受け入れの拡充に努めてきました。また訪問看護を重視し早期の退院と地域での生活支援にも力を注いでいます。さらには、いわゆる重症困難な患者さんたちの受け入れも必要性を見極めながら行っています。その他、思春期医療やストレス関連医療等も今後の課題だと考えています。

また治療にあたっては、精神医療センターとして掲げている7つの「患者さんの権利」を尊重し、療養にあたって不快なことがないよう努めています。なかでも治療上大切なことは、インフォームド・コンセントに基づいた医療を行うことです。患者さんにわかるように説明し、十分納得してもらいながら治療にあたることで、好結果をもたらすことが様々な場面で確認されています。これからは精神科医療も「患者さんと医療者の協同作業」であることを肝に銘じていくことが大切だと考えています。

このように当芹香病院は、専門的な医療をより適切な形で県民の皆様に広く提供していくことで、信頼され親しまれる病院をめざしています。

せりがや病院のご紹介



せりがや病院長 岸本英爾

せりがや病院は、41年の歴史を持つアルコール、薬物（覚せい剤、シンナー、麻薬等）依存症の治療専門病院です。

最近若者、女性、高齢者のアルコール、若者の覚せい剤、大麻、エクスタシー（MDMA）等の依存症が激増しています。当病院の初診の方をこの10年で見ると、アルコールは70歳以上の高齢者で6.8倍、若者の間での覚せい剤は3.3倍、大麻は14倍、医療薬依存は4.4倍となっています。皆さんのお近くに、アルコール、薬物問題でお困りの方がおられましたらいつでも当病院にご相談ください。家族として、また友人として、よかれとしてやっていることが、かえってアルコールや薬物に追いやっていることも多いので、当病院では、ご家族にアルコール、薬物問題を抱えている方を対象に家族教室も行っています。いつでも参加いただき、ご参考にしてください。

当病院は、依存症の専門病院として、最新の医学知識を生かし治療を進めるとともに、県民の方などが依存症に陥らない啓発活動も行っています。また患者さんの人権に配慮し、各職種連携によるチーム医療を大事にし、患者さんの社会復帰を目指して努力しています。

最近の国、神奈川県教育庁の調査によっても、青少年の中で薬物乱用は増え続けています。アルコールを含め早期の対応が大切で、できるだけ早い時期に相談にいらして下さい。早ければ早いほど対応は容易です。

芹香病院患者満足度調査

芹香病院では、患者さんやご家族に信頼される心あたたかい医療を提供するため、このたび当病院に入院若しくは通院している患者さんについて満足度調査を実施しましたので、その概要をお知らせします。

① 入院患者さんの満足度調査の結果

平成16年7月5～9日の間に9病棟に入院されていた患者さんにご協力いただき、病棟内の環境と看護師・医師に対する希望について、アンケート調査を実施しました。

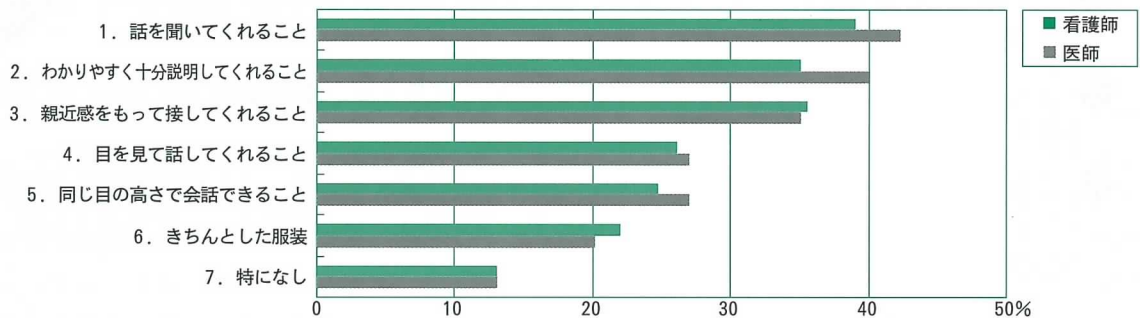
病棟内の環境（7項目）の中で、満足度の高かった割合は、①ベッドの寝心地（68.1%）、②病棟・病室内の整理整頓（65.1%）、③入浴設備（64.9%）、④病院内の清潔度（59.6%）、⑤看護師・医師以外の職員の対応（58.1%）、⑥食事の内容（51.7%）、⑦トイレの清潔度（48.8%）の順でした。

看護師・医師に望むことについては、図1のように「話を聴いてほしい」、「わかりやすい十分な説明を」との希望が多くありました。

病院では、これらの調査結果を基に、入院患者さんのニーズについて、ハード・ソフトの両面から検討を重ね、今後活かしていきたいと思っております。

図1

看護師・医師に望むこと



② 外来患者さんの満足度調査の結果

平成16年9月13～17日の間に、通院されていた患者さんにご協力いただき「病院に来て良かったか」と「改善が必要な事項」についてアンケート調査を実施しました。

「病院に来て良かったか」との問いに対しては、図2のように「非常に良かった・やや良い」と答えた方は77%でした。一方「非常に悪い・悪い」と答えた方は4%、「どちらともいえない」とした方は19%でした。

また、改善が必要と感じていることは、図3のように「トイレをきれいにしたい」「食堂がない」「喫煙室が使いにくい」など、ハード面の整備を求める声が多くありました。特に切実な要望としては、「外来の待ち時間の短縮を望む」ことや「病状説明、情報提供、話を良く聞く、意思の尊重」など十分な説明を求める声が大変多いことがわかりました。

地域で生活するにはいろいろな面で苦勞が多く、そのために定期的診察によって自分の状態を十分知ってほしい、そして適切な相談・指導を受けたいというご希望も強いものがあると考えられます。今後もこれらのご意見を踏まえ、外来診療を改善していくよう努力していきたいと考えております。

図2

この病院を選んで良かった

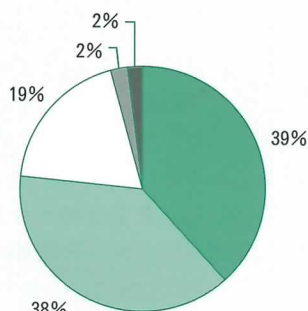
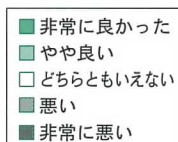
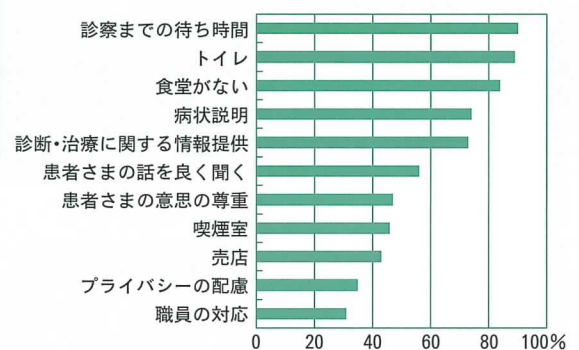


図3

改善の必要な項目
(上位10項目)



せりがや病院外来患者満足度調査

せりがや病院では、患者さんやご家族が安心して治療を受けられ、満足していただける医療をめざしています。このため、平成16年10月12日～19日の間に外来受診された159名の方からご協力いただき、患者満足度調査を行いましたので、その結果をお知らせします。

- ① 病院職員に対する総合評価（5点評価）はつぎのような結果でした。

	項目	医師	看護師	心理相談員
1	説明	3.76	3.85	3.82
2	質問に対する回答	3.83	3.84	3.86
3	態度と言葉づかい	3.92	3.99	3.89
4	身だしなみ	3.95	4.02	3.97
5	信頼感	3.98	3.98	3.90
	総合評価	3.89	3.94	3.89



- ② 職員別でみると、医師では「検査・薬についての説明」が3.65点、看護師では「質問に対する回答」が3.84点、心理相談員では「説明」が3.82点、薬剤師では「薬についての質問」が3.50点でした。最も重要とされる項目がやや低い結果となりました。
- ③ 待ち時間（診察開始まで）については、長い33%、やや長い19.1%、普通38.3%、短い・やや短い9.3%という回答があり、52.1%の方が長いと感じられていました。
- ④ 次も当病院を利用しますかとの問いに対しては、「利用する」が73.2%、「しない」は0%で大多数の方が今後も利用するという高い評価でした。
- ⑤ 自由意見としては、「薬の待ち時間が長いので方法の改善を希望」、「土曜日午後の診察を希望」、「院内がとてもきれい」、「院内禁煙になり喜んでいますが、禁煙外来を開いてほしい」などのように、病院職員の対応や病院環境について様々なご意見をいただきました。

当病院では、調査結果やいただいたご意見を踏まえ、今後とも、患者さんやご家族が安心して治療を受けられる環境づくり・心あたたかい医療を推進に向けて、職員一丸となって取組んでまいりたいと存じます。

Center News Center News センターニュース Center News Center News

●セカンドオピニオン実施

当精神医療センター（芹香病院・せりがや病院）では、平成16年7月1日から、セカンドオピニオンを実施しています。セカンドオピニオンとは、「患者さんなどが、現在、他の医療機関で受けている医療について正確に判断し、より良い方法を選択するために当センターの経験ある医師の意見を求めること」です。

利用できる方は、「患者さん本人、もしくは患者さんの意思を代行できる方（患者さんの同意書などが必要）です。お受けになりたい方は、平日の午前8時30分から午後5時までに、電話又は直接来院により、外来看護係に申し込んでください。

基本料金は、1回につき7,490円（消費税込み）で、さらに診断などを行った場合には料金が加算されます。健康保険などの適用及び減免措置はありません。

●せりがや病院で「初診予約制」導入

せりがや病院の初診受付が「予約制」に変更になりました。

た。せりがや病院では、これまで初診時は「予約なし」で、診療受付を行ってききましたが、待ち時間の短縮を図るため、平成16年11月1日より「予約制」を導入し、午前9時～午前11時の間で、時間を指定させていただいております。「予約」は、平日の午前8時30分～午後4時30分の間に、外来看護係までお電話もしくはご来院にてお願いします。また、ご不明な点がございましたら、心理・相談科にお問い合わせ下さい。

●芹香病院第2回家族講座の開催

芹香病院では、入院若しくは外来通院されている方のご家族を対象に家族講座を年2回開催していますが、このたび次の日程で第2回の講座を開催することとしました。ご希望の方がございましたら主治医と相談いただき、医療相談室までお申込み下さい。

◇日時：平成17年2月8日(火)～3月8日(火)

毎週火曜日の午後7時～8時30分

◇内容：統合失調症の理解・治療、リハビリテーション、関わり方、社会福祉制度・資源